

令和 8 年 6 月 25 日

平和の構築に向けて世界 30 カ国の多様な科学者が広島大学に集結
日本初開催の「World Forum for Women in Science」を本学で開催

2026 年 7 月 18 日（土）から 20 日（月・祝）まで、広島大学霞キャンパス広仁会館において、「女性科学者のための世界フォーラム（World Forum for Women in Science - Japan : WFWS）日本大会／第 12 回国境なき女性国際会議（Women in Science without Borders : WISWB）」を開催します。

本大会は、「平和のための科学と技術」をテーマに、国内外の研究者、国際機関関係者、政策担当者、教育・医療・イノベーション分野の専門家が広島に集い、科学技術が平和、国際協力、ジェンダー平等、持続可能な社会づくりにどのように貢献できるのかを議論する国際会議です。

初日のオープニングセッションには、国際的な女性科学者ネットワークを牽引してきた、エジプト国立研究センター Amal Amin（アマル アミン）教授、欧州の研究政策・科学外交に携わってきた Angela Liberatore（アンジェラ リベラトーレ）氏に加え、広島大学の新福洋子教授らが登壇します。また、7 月 19 日（日）には、研究者のキャリア形成とケアをテーマとするプレナリーセッションを、7 月 20 日（月・祝）には、科学的知見を政策や社会に伝えるためのワークショップを開催します。

広島大学は、被爆地・広島に立地する大学として、本大会を通じて、科学技術を平和と国際協力にどう生かすのかを国内外の研究者・関係者とともに議論し、その成果を広島から発信します。

- 日 時： 2026 年 7 月 18 日（土）～20 日（月・祝）
大会名： 第 12 回国境なき女性国際会議
（Women in Science without Borders : WISWB）
テーマ： 平和のための科学と技術
会 場： 広仁会館（広島大学霞キャンパス内 [広島市南区霞]）
プログラム： チラシ参照
参加費について： 参加をご希望の方は、学会への登録と参加費の支払いが必要です。
申込み方法： チラシ記載の二次元コードよりお申込み
定員 現地：300 人、オンライン：無制限
その他： 一部同時通訳あり

取材について 全てのプログラムについて取材可能。ご希望の際は、下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

<WFWS>

WFWS (World Forum for Women in Science) は、WISWB (Women in Science Without Borders) が主催する女性科学者の国際的なネットワーク形成と国際協力の推進を目的とした国際フォーラムです。毎年世界各地で開催されており、2026年大会は本学が開催校を務めます。

<過去の開催地情報>

2022年：プトラ大学（マレーシア）

2024年：エンニオ・モリコーネ音楽公園講堂（イタリア）

2025年：ヤルムーク大学（ヨルダン）

2026年：広島大学（日本）

【お問い合わせ先】

World Forum for Women in Science - Japan事務局

Mail：wfws2026@gmail.com

電話：082-424-4314（渡辺）

World Forum for Women in Science - Japan

女性科学者のための世界フォーラム日本大会

The 12th International Conference for Women in Science without Borders

2026/7/18(土)-20(月)

広島大学霞キャンパス

広仁会館

広島市南区霞1-2-3



参加登録者向けオンライン配信あり/一部同時通訳あり

平和

科学のための

技術

オープニングセッション 7/18(土) 9:30-10:30 第1会場

国境を越えて：女性科学者が牽引するグローバル・サイエンス・ディプロマシー

座長：鹿嶋 小緒里 (広島大学 教授)

演者：Amal Amin (エジプト国立研究センター 教授)

新福 洋子 (広島大学 教授)

小野 遥 (日本学術会議若手アカデミー 代表)

Angela Liberatore (欧州大学院大学 サイエンス・ディプロマシー・フェロー)

プレナリーセッション1 7/18(土) 10:40-12:10 第1会場

分配的正義の視点から捉えるサイエンス・ディプロマシー：

科学の公共性と国際協力の再設計

座長：新福 洋子 (広島大学 教授)

坂元 晴香 (日本学術会議若手アカデミー 国際分科会副代表)

演者：Sam Chan Siok Yee (Global Young Academy 共同代表)

Jan Marco MÜLLER (European Commission チームリーダー)

標葉 隆馬 (慶應義塾大学 准教授)

Paul Arthur Berkman (国際学術会議 フェロー)

有本 建男 (JST 参与、GRIPS 客員教授、国際学術会議 フェロー)

プレナリーセッション2 7/19(日) 10:15-11:45 第1会場

ケアを再構築する：

負担の再分配から、人生の豊かさの共有に基づく研究者のキャリア形成

座長：菅野 早紀 (青山学院大学経済学部 准教授)

松本 大亮 (日本学術会議若手アカデミー)

演者：Antonia Morita Iswari Saktiawati (Universitas Gadjah Mada)

前原 はづき (株式会社ライフ・ポートフォリオ 代表)

松原 圭子 (国立成育医療研究センター女性の健康総合センター

オープンイノベーションセンター準備室 室長

ダイバーシティ研究室 室長)

Zille Anam (UK リサーチ・イノベーション・インド事務所

シニアプログラムマネージャー)

Rob Jenkins (ヨーク大学 教授)

参加登録
プログラム詳細



主催 / World Forum for Women in Science - Japan 事務局

広島大学医系科学研究科国際保健看護学

Mail : wfws2026@gmail.com

